

別表8 要検討物質の他調査における報告の有無と生産量及び主な用途

整理番号	対象物質		経団連報告(H)	日化協報告(H)	神奈川調査(H)	全国生産量(トン/年)		主な用途
	物質名	毒性				重点	平成7年	
7	o-アニシジン	B		-	有*	150	150	各種染料の中間物(開放系で使われることは少ない)
11	インジウム及びその化合物	B	有	-	(有)	131	77	ハンダ、低融点合金、液晶セル電極用、歯科用合金、防食アルミニウム(開放系の用途あり)
23	p-クレシジン	B		-	-	500	500	アゾ染料等各種中間物(大気中では極めて短時間で分解)
27	クロロニトロベンゼン類	B	有		-	22,500	22,500	アゾ染料中間物、硫化染料中間物
33	クロロメチルメチルエーテル	法	有	(有)	有			医薬・農薬中間体(密閉系の用途で使われる)
44	1,1-ジクロロエチレン	法	有	-	有			樹脂原料(環境モニタリングでの検出実績は僅か)
45	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	B	有	(有)	有			ウレタンエラストマー用硬化剤、ポリウレタンエラストマー用硬化剤(検出実績なし)
52	シス-1,2-ジクロロエチレン	法	(有)	-	(有)			カフェイン・香料等の低融点抽出剤、合成中間体、発酵阻害剤(開放系の用途あり)
53	ジニトロトルエン類	B	有	-	-	1,000	1,000	有機合成原料、トルイジン、染料、火薬の中間体(検出実績はない)
54	ジニトロベンゼン類	B	(有)	-	(有)			有機合成原料、染料(開放系の用途なし)
56	1,2-ジプロモエタン	B	有	(有)	(有)			殺菌剤、合成原料(検出実績はない)
57	1,1-ジメチルヒドラジン	B	(有)	-	-	100	100	合成繊維・合成樹脂安定剤、医薬・農薬原料、ミサイル推進薬、界面活性剤
69	トランス-1,2-ジクロロエチレン	法	(有)	-	(有)			合成原料
73	CNP	法		-	-			水田用除草剤(平成7年に農薬として失効)
74	トリクロロフェノール類	B			有			染料中間物、殺菌剤、木材防腐剤(開放系の用途あり)
75	トリフェニルスズ化合物	法		(有*)				船底塗料、漁網防汚剤(平成9年度は生産を完全に中止した)
76	トリブチルスズ化合物	法		(有*)	(有)			船底塗料、漁網防汚剤(平成9年度は生産を完全に中止した)
78	o-トルイジン	B	有	(有*)	有*	775	535	アゾ系染料、硫化系染料、有機合成原料、有機溶剤、サクカリン(主として密閉系の用途)
82	o-ニトロアニソール	B		-	(有)	800	800	有機合成原料、染料、医薬品の中間体、ジアニシジンの原料(主として密閉系の用途)
103	ペンタクロロフェノール	B		-	-			除草剤、枯草剤、木材防腐剤、殺菌剤、防かび剤、軟体動物駆除剤(平成2年に農薬として失効)
115	アゾベンゼン	C		-	-			ダニ駆除剤、消毒剤、染料、ゴム製造促進剤(一部に開放系の用途あり)
116	アニリン	C	有	有	(有)	249,618	229,895	染料、媒染料、各種中間物、ゴム添加剤、火薬原料(大気中も水中も容易に分解)
128	キノリン	C	有	-	有*	1,100	1,100	農薬、医薬、界面活性剤、合成原料、清浄剤用インヒビター(主として密閉系の用途)
129	グリオキサール	C	有	-	(有)	13,000	13,000	繊維処理剤、土壌酸化剤、紙仕上げ剤、鍍金添加剤、香料原料(主として密閉系の用途)
130	クロトンアルデヒド	C	有	-	(有)	5,000	8,000	ブタノール、クロトン酸、など各種化学品及び医薬品の原料(大半が密閉系の用途)
131	p-クロロアニリン	C		-	(有)			染料、顔料、除草剤、医薬品等の合成原料(主として密閉系の用途)
132	1-クロロ-3-プロモプロパン	C		-	-	1,500	1,500	医薬、農薬、染料、顔料等の有機合成中間体
136	ジクロロイソプロパノール類	C	有	-	-			有機合成媒体、溶剤、水性絵の具接合剤(大気及び水質から検出実績あり)
138	ジクロロメチルベンゼン	C	有	-	-			塩化ベンゾールの原料(大半が密閉用途)
140	2,4-ジニトロアニリン	C		-	-			腐食防止剤、プリンター用インク、アゾ染料の原料(大半が密閉系の用途)
142	ジフェニルアミン	C	有	-	(有)	2,500	2,500	有機ゴム薬品、染料、火薬安定剤、塩素系溶剤安定剤、医薬品(一部は開放系の用途)
145	ジメチルフタレート	C	有	有	有	1,500	1,500	顔料ラッカー混濁剤、塩ビフィルム可塑剤、昆虫忌避剤、染料増粘剤(一部に開放系用途)
148	タングステン化合物	C	有	-	(有)	3,960	3,706	超硬合金、白熱電球フィラメント、化学薬品、顔料、触媒(主として密閉系の用途)
151	塩化シアヌル	C	(有)	-	-	3,000		染料主原料、合成樹脂原料、医薬品原料等(全て密閉系の用途)
154	ニトロベンゼン	C	有		(有)	168,665	164,299	染料・香料中間物、毒ガス原料、有機溶剤、塵埃防止剤原料(一部は開放系の用途)
157	2,2'-ジクロロエチルエーテル	C		-	-			油溶性溶剤、有機合成中間体(開放系の用途あり)
159	フタル酸ジイソブチル	C	有	有	-			可塑剤、燃料用オイル添加剤
164	ヘキサメチレンジアミン	C	有	-	有	23,639	22,222	ナイロン66の原料、ウレタン原料(環境モニタリングでの検出実績はない)
169	メタリルクロライド	C		-	-	2,500	2,500	染色改質剤原料、合成樹脂原料、農薬原料(開放系の用途はない)
172	メチルヒドラジン	C		-	(有)	1,000	200	農薬・医薬原料、ミサイル推進薬、高分子添加剤、写真薬品、有機合成原料
173	ヨウ化メチル	C		-	(有)			メチル化剤(合成原料)、試薬(少量用途である)
174	リン酸トリブチル	C	(有)	-	(有)			可塑剤、抽出剤、耐光性ラッカー、消泡剤(開放系の用途あり)
177	多環芳香族ニトロ化合物類	C		-	-			非意図的生成物質
178	ニトロソアミン類	B		-	(有)			非意図的生成物質、有機ゴム薬品(スコーチ防止剤)

注1: 物質の生産量と用途は「13197の化学商品」及び「13398の化学商品」(化学工業日報社)による。

注2: 「経団連報告」における「有」は、経団連のPRTR調査(9年度)で2事業所以上から報告があったことを示す。

注3: 「日化協報告」における「有」は、日化協のPRTR調査(8年度)で2事業所以上から報告があったことを示す。但し、物質群の一部に対応するものには記号"*"を付けた。

注4: 「神奈川調査」における「有」は、神奈川県の化学物質使用実態調査(8年度)で取扱の報告があったことを示す。但し、物質群の一部に対応するものには記号"*"を付けた。

注5: 「経団連報告」及び「日化協報告」の括弧書きしたものは、値がゼロとしての報告があったことを示す。「神奈川調査」における括弧書きは、パイロット事業の裾切値未満の取扱量報告を示す。

注6: 各報告及び調査で調査対象とならなかった物質は「検出」で示す。

注7: ここでは「生産量」+「輸入量」-「輸出量」を単に「生産量」とした。